

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2019/12/31	2020/11/30	2020/12/18	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	23,656.62	26,433.62	26,763.39	26,894.25	2020/12/7	16,358.19	2020/3/19
NYダウ	ドル	28,538.44	29,638.64	30,179.05	30,343.59	2020/12/18	18,213.65	2020/3/23
円/ドル	円	108.61	104.31	103.30	114.55	2018/10/4	101.19	2020/3/9

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

~ 新型コロナウイルスワクチンの普及や米追加経済対策による景気回復期待などから、上昇 ~

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+110.87円(+0.42%)、TOPIXが+11.23ポイント(+0.63%)となり、新型コロナウイルスワクチンの普及や米追加経済対策による景気回復期待などから、上昇しました。業種別(東証33業種)でみると、パルプ・紙、その他製品、非鉄金属などの17業種が上昇した一方、空運業、ゴム製品、陸運業などの16業種が下落しました。週初の14日は、新型コロナウイルスワクチンの普及による景気回復期待が意識される中、日銀短観において緩やかな景況感の改善が確認されたことなどから、上昇して始まりました。しかし15日は、国内外で新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからず、「Go To トラベル」の12月28日から2021年1月11日までの一時停止が発表されたことなどから景気悪化に対する警戒感が高まり、反落しました。週後半は、米バイオ製薬モデルナの新型コロナウイルスワクチンが米国で承認される見通しとなったことや、米追加経済対策を巡る与野党協議の進展が報道されたことなどが好感され上昇した後、FOMC(米連邦公開市場委員会)声明において現在の緩和的な金融政策を長期間維持することが示唆されたことなどが安心感に繋がり、高値圏での推移が続きました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	期間	前回
12月21日	Mon	日本	2021年度当初予算案閣議決定		
		欧州	ユーロ圏消費者信頼感指数	12月	▲17.6
12月22日	Tue	日本	内閣府、月例経済報告		
		米国	中古住宅販売件数	11月	6,850千件
12月23日	Wed	米国	消費者信頼感指数	12月	96.1
			耐久財受注(前月比)	11月	+1.3%
12月25日	Fri	日本	新築住宅販売件数	11月	999千件
			失業率	11月	+3.1%

決算発表予定 他 なし

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

~ 年末年始を控えて新規材料が見込み難い中、動意の乏しいレンジ内推移を予想 ~

今週の日本株市場は、年末年始を控えて新規材料が見込み難い中、動意の乏しいレンジ内推移を予想しています。新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない中、主要国・地域において行動制限措置が一段と強化され、目先の景気減速懸念が高まれば、株価を下押しすると考えます。一方、①米国において、追加経済対策を含む財政政策を巡る与野党協議がようやく合意に達したこと、②新型コロナウイルスのワクチンを巡り、先週から米国において接種が開始され、欧州においても年内に接種が承認される可能性が高いことなどから、来年以降の景気持ち直し期待は根強く、株価の下支えに働くと考えます。先週、米FOMCや日銀政策決定会合などを無難に通過し、米財政協議も合意に至ったことで年内の重要イベントが終了したことに加え、今週は海外投資家がクリスマス休暇入りすることもあり、積極的な売買は手控えられレンジ内で推移するとみています。その他の注目材料として、日本では、25日の失業率、米国では22日の中古住宅販売件数、消費者信頼感指数、23日の耐久財受注、欧州では21日のユーロ圏消費者信頼感指数などが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co., Ltd.
URL: <http://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会